事業者向け 児童発達支援自己評価表

キッズランド まめの木 ばらき校

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	改善目標、工夫している点など
環境	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	50%	25%	25%	・規定上はクリアしている。机などを片 付け、動線を確保している。
体制	2	職員の配置数は適切であるか	88%		12%	
整備	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされているか	25%	63%	12%	・玄関の段差、トイレのステップなど幼 児にもう少し配慮が必要と感じる。
	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画し ているか PDCA…P (計画) D (実行) C (評価) A (改善)	88%	12%		・目標設定するものは限られているが、職員の意見を聞き、取り入れて行っている。振り返りやフィードバックの時間をもう少しとれるとなおよい。
業務	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	100%			・保護者からの要望、意見は必ず目を通し、改善できるよう善処している。
改善	6	この自己評価の結果を、事業所のホームページ 等で公開しているか	75%		25%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか(まめの木では、第三者 評価は行っていない)	38%	24%	38%	
	8	職員の資質の向上をために、研修や勉強会の機 会を設けているか	100%			・毎月テーマを決めて事業所全体での研修を 行ったり、外部の勉強会へ参加することもあ る。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の 要望や課題を客観的に分析した上で、児童発達 支援計画を作成しているか	88%		12%	・子どもの普段の様子の観察から課題を見出したり、モニタリングや保護者との普段のやり取りから要望を聞き取り、計画を作成するが、十分適切に子どもの評価が出来ているかは自信がない。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツール(知能検査・発達検 査)を使用しているか	38%	24%	38%	・決まった評価法を用いてはいない。病 院等で検査を行った場合は、積極的に共 有してもらい参考にしている。
適切な支援	11	児童発達支援計画には、「発達支援」、「家族 支援」、「地域支援」で示す支援内容から子ど もの支援に必要な項目が適切に選択され、その 上で、具体的な支援内容が設定されているか	76%	12%	12%	・支援計画には具体的に支援内容を設定している。
援の提供	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われている か	88%		12%	
供	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	100%			・五領域に基づいたプログラム立案を行い、 子どもたちが楽しく取り組めることを意識し ている。
	15	子どもの特性や家庭状況に応じて、個別活動と 集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画 を作成しているか	75%		25%	・個々の特性、成長に合わせ、計画書を 作成している。

		支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その	100%			・毎朝ミーティングを行って、その日の 活動内容を共有している。
	16	日行われる支援の内容や役割分担について確認 しているか				палателя с с с о о
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、そ の日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点 等を共有しているか	88%	12%		・その場にいるスタッフで振り返りを 行ったり、翌日のミーティングで子ども の様子など、気づいた点を話し合ってい る。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹 底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			・朝のミーティングの内容をノートに記録し、その日休んでいる職員にも共有できるようにしている。問題点があれば、都度話し合い、改善策を出し合って実行している。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計 画の見直しの必要性を判断しているか	100%			
関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に その子どもの状況に精通した最もふさわしい者 が参画しているか	100%			
係機関	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関 係機関と連携した支援を行っているか	50%		50%	・相談員を通して行っている。
や保護者との	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、 医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	25%	12%	63%	・該当児は今のところいない。
の連携関係	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医 や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	50%		50%	・今のところ該当児はいないが、医療機 関との連絡体制を整えてある。
機関や保	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校 (幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容 等の情報共有と相互理解を図っているか	75%		25%	・保育園、幼稚園との情報共有を行っている。
護者との連	25	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移 行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を 図っているか	50%	12%	38%	・利用者全員が情報共有が出来ているかと言えば、出来ていない場合もある。学校側の事業所への認識が薄い印象もあり、一歩踏み込んだやり取りが出来ていないのが現状である。
~ 携	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業 所、発達障害者支援センター等の専門機関と連 携し、助言や研修を受けているか	38%	38%	24%	・当法人内の相談員を通じ、他事業所で の様子をうかがったり、支援の内容を共 有出来ている。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、 障害のない子どもと活動する機会があるか		75%	25%	・計画的な交流はないが、公園にでむ き、交流をはかっている。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ど も・子育て会議等へ積極的に参加しているか		62%	38%	

	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子 どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っているか	100%		・送迎時に子供のその日の様子を伝えたりして、コミュニケーションをはかっている、小さなことでもできたことを伝えられるよう心掛けている。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対してペアレント・トレーニング等の支援を 行っているか	50%	25%	 当法人内の心理士が必要に応じ、保護者と面談し、アドバイスを 行っている。現場では、保護者の話を聞いたり、援助をすることはあ るが、なかなかペアレントトレーニングまでは行えていない。ペアレ ントトレーニング自体、どのように行うものかあいまいである。

	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか	100%			・契約時に行っている。
	32	作成された「児童発達支援計画」を示しながら 支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支 援計画の同意を得ているか	100%			
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適 切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			
保護者	34	保護者会等を開催する等により、保護者同士の 連携を支援しているか	100%			・保護者間での連携を図れるよう、支援している。
への説明	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、 対応の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速 かつ適切に対応しているか	100%			
責任等	36	定期的にまめの木通信を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に 対して発信しているか	100%			
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%			
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情 報伝達のための配慮をしているか	100%			
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開 かれた事業運営を図っているか		62%	38%	・今後は企画計画に取り入れていきたい。
	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に 周知しているか	100%			・契約時保護者に説明しているが、十分に周知されているか、理解されているかは不明。 定期的に共有する必要があると考えられる。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そ の他必要な訓練を行っているか	100%			・定期的に実施出来ている。こういう場合はどうするか等職員の役割や動きをもう少し詳しく考えた訓練が行えるとなおよい。
非	42	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの 状況を確認しているか	88%		12%	・契約時に発作等の確認をしている。

常時等の	43	食物アレルギーのある子どもについて、保護者 の移行や医師の指示書に基づく対応がされてい るか	88%	12%	・保護者の意向を汲み取り、対応している。
対応	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有 しているか	100%		
	45	虐待を防止するため、職員の研修や勉強会を確 保する等、適切な対応をしているか	100%		・定期的に研修を実施している。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達 支援計画に記載しているか	100%		・該当児は今のところいない。手順を踏 まえ実施していく。